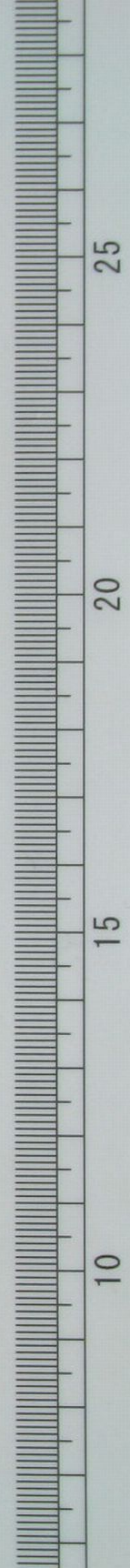


特
小倉文庫
イ 16
2



今村知商撰

因歸算歌

下卷

寬永十七年刊

門 116
號 2
卷



昭和二十七年
六月二十一日
受入

周歸算方个卷目錄

○方積

平方

積換

小

竹枝

山形

二又六七八九十方

平圓

敏櫃

○坪積

立方

蕎麥

切露

方堅

厚幅

山形

竹枝

方籠

厚幅

方



厚幅卷 捲形 三方壘 三方壘

三方壘 付 又六七八九十方

方壘 方壘 方壘 玉 方壘

○個積

三方壘 方壘 方壘 方壘積

○開年

自周 一十位 自歸

○開立

再自周 一十百位 再自歸

○雜術

直相周 相歸 碎積 周歸分

内介増減裏 増介の内裏

等分 自周 相周 盈胞差分

周歸分 小臥 行技 周歸分

方錐 方壘 遠積為之量

通周法 付 不尽

周歸算方下卷目録終



周歸算方卷下

今村和廣撰

方積

平方



方五寸にして
は歩尺八歩ある

は式ハ自周

平方ハ方どのつうなけてこそ方
是と自周の式といふなり

縦横
たてよこ



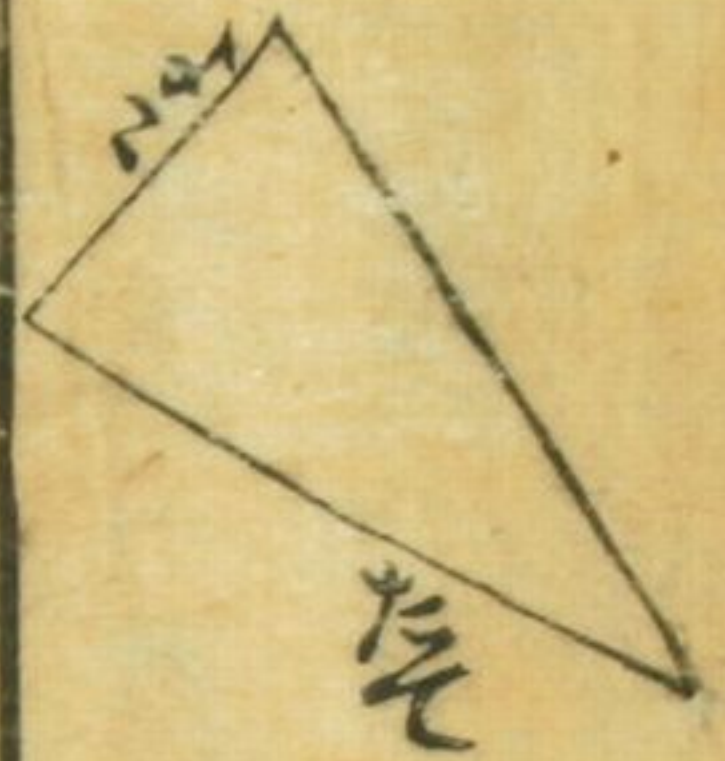
たて

は式ハ相同

たて六尺寸
よこ八尺寸
は寸方六寸八分

たてよこ六たてよこ一ひけそあつとそある
是と相同の式といふなり

小臥
かま



たて

たて四寸
よこ三寸
は寸方六分

は式ハ相同

おらひとたてよこ一ひけそあつとそ又
二つはよりりてあつとそある

横
よこ



たて

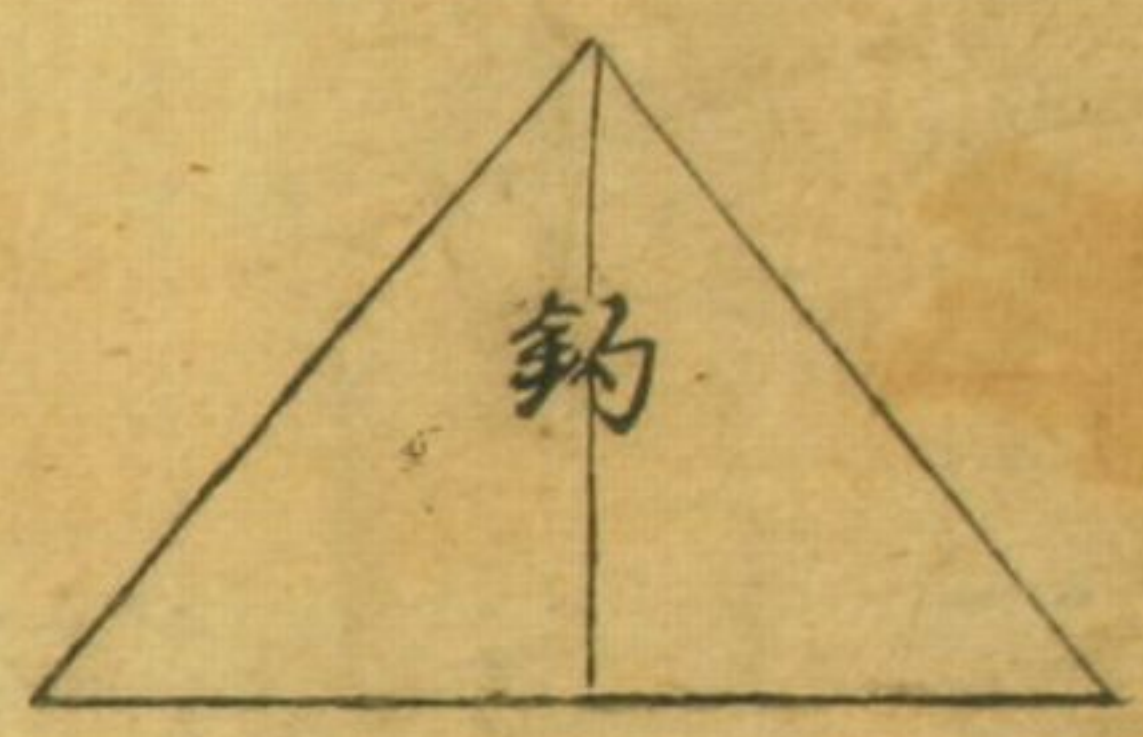
は式ハ并相同

ひろ式尺四寸
せそ三寸
は寸方七寸八分

は式ハ并相同

たてけり二よりり方敷とそある

山形



釣守分にて
股まき八
は寸方定まらぬ

は式ハ相周す

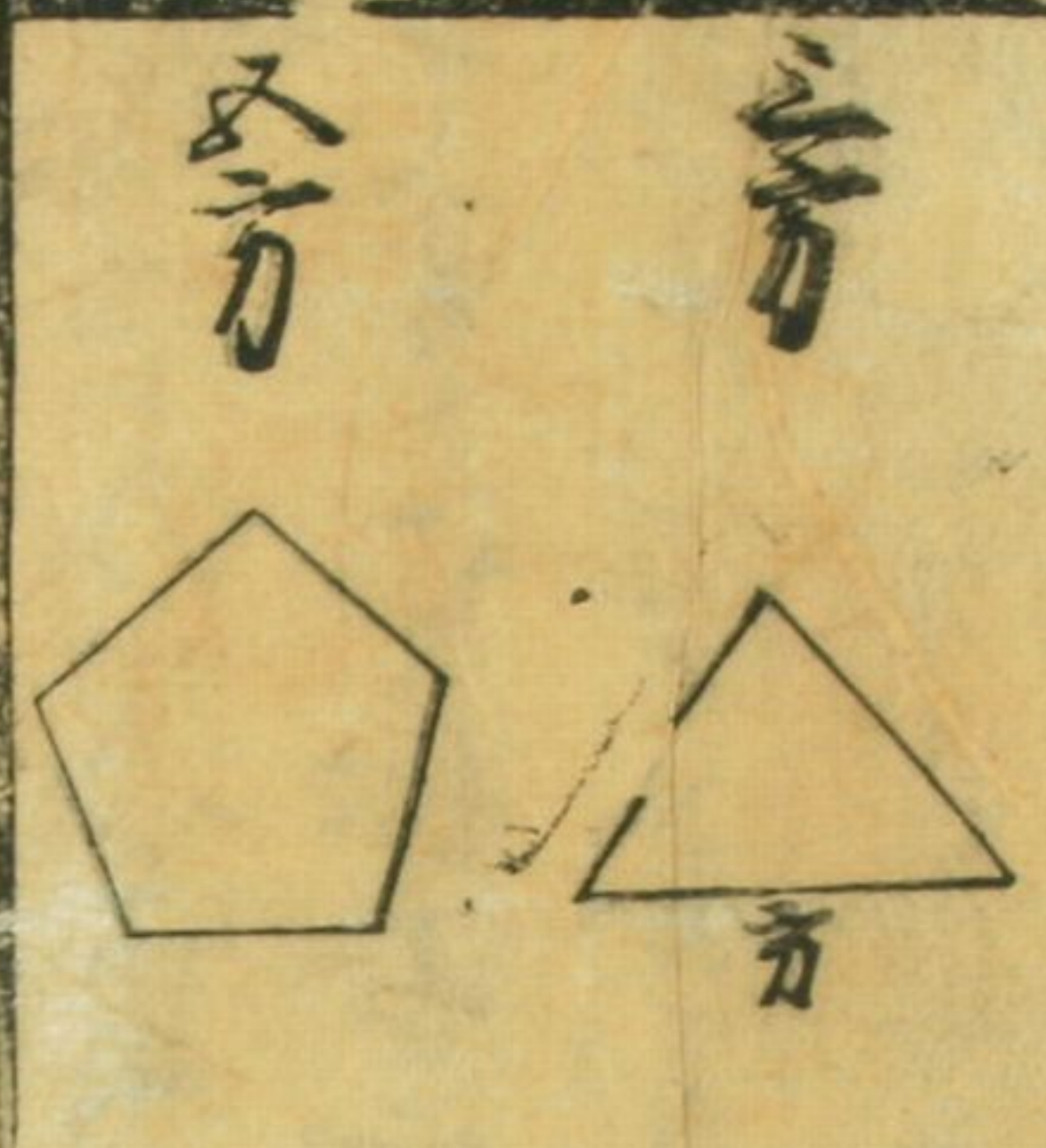
山形を法りこころざりけりま

二つよりりて方敷とそある

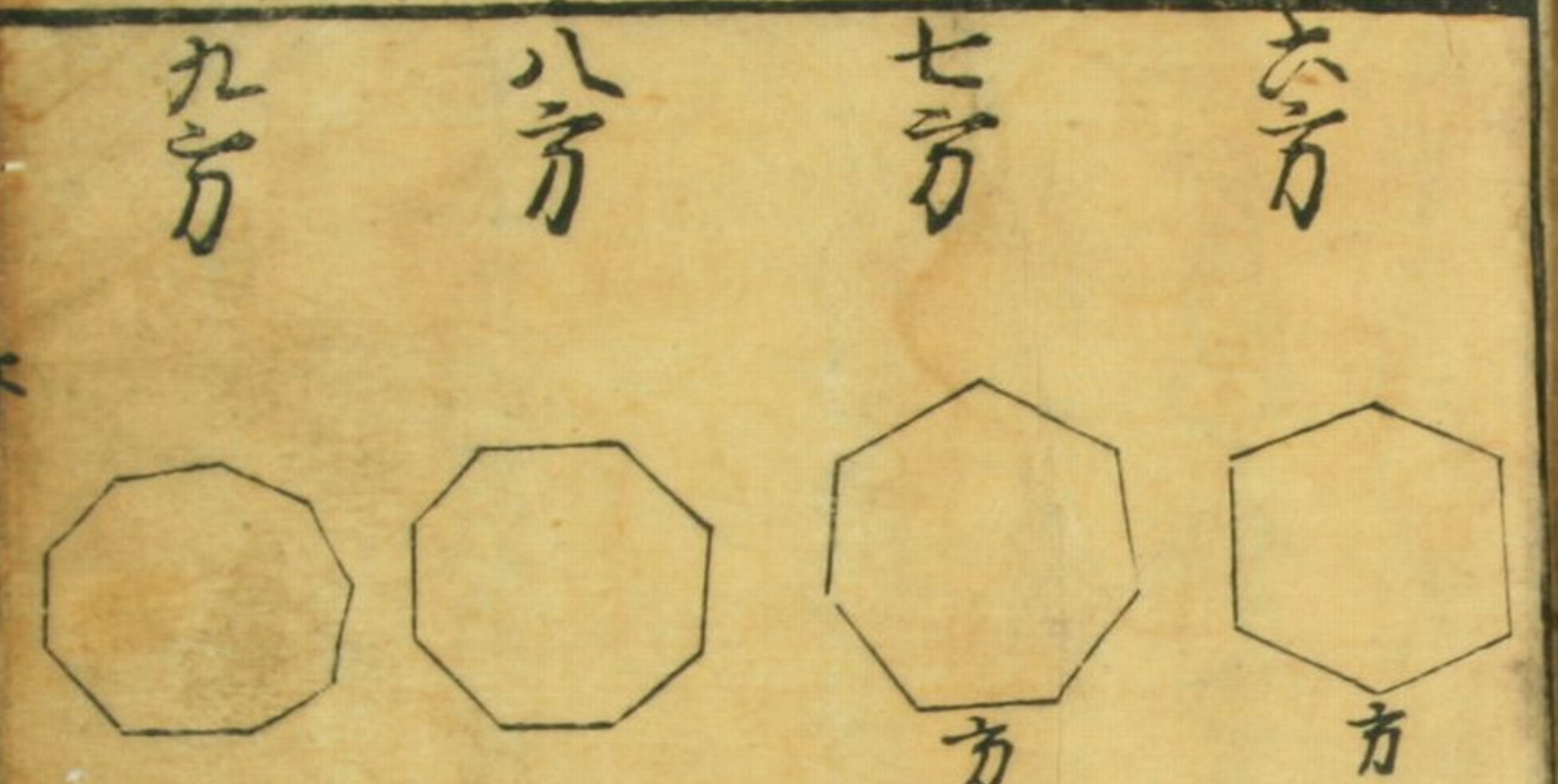
右方敷とりりて平方とあるハ方敷

開平の式を用あり又縦横れた
てようこと知ら方敷とよこにいられハそ
ありたてよこれハよこあり又
好よりりて相懸開平帯縦開平の
式を用あり又小形片枝山形
は小のたてようことあり方敷と並倍
して縦横のたてようこと知式は同れ
えそれくの縦横ありあり委ハ堅

亥録より下より上は是よのせよりなり
 右式にいふありは子と魏といふは
 方上よりなりされくの魏の術
 録より下より上は是よのせよりなり



三方の歩法は二分三
 方守りして
 守り歩十歩八分五厘を
 五方の歩法は一分七
 方守りして
 守り歩四歩二分五厘



六方の歩法は二歩又九八
 方守りして
 守り歩六十歩九分五厘
 七方の歩法は三歩六分
 方守りして
 守り歩九十一歩
 八方の歩法は四歩八分
 方守りして
 守り歩百廿七歩
 九方の歩法は五歩九分
 方守りして
 守り歩百廿七歩二分五厘

十方



十方の歩法七歩七寸
方寸七寸七寸
守方寸七寸二分五厘

右三五六七八九十方それく此方と知式

自周法^お周^お

方物それく此方とおの法

けてそれくの法け方教

右方教とて方物の方とまら方教と

おすそれくの法とりつてうりて開

平の式と用れとまらうり右の方物の
く是も規のうりうりくは
書録よまらうり是よのせ

平



徑^おの歩法

七分九令
七厘九令

徑寸^おして

寸方十九分七分六厘二毛

周二尺寸八分二厘

寸方同前

い式ハ自周法周

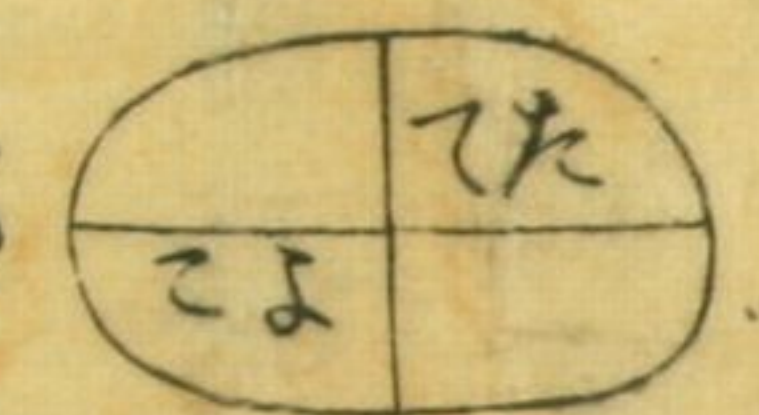
平邊を^徑周とのつうしうけてまゝ

法とひけてそ歩數ありたり

右歩とひて平邊の徑とあり周とあり
 歩數と直径の歩法とりつてより開平
 の式と周まきの徑とあり周の歩法と
 ひてよりて開平此式と周まきの周知也
 右平邊よりひるをいふと船といふ是邊

言の式あり船の術をいふは堅き録
 よわしきといふは是よのせと

飯櫃



たて守
 よこ守

い寸歩正四歩七分六厘二毛み系

い式ハ方邊并

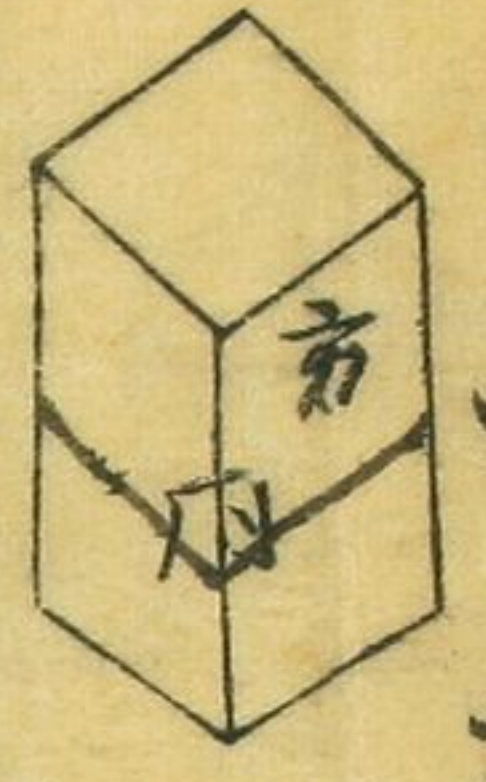
いひひつちたてその内とてよと
 のつりよとよとひけてそ歩數

下

又ふことゑのけふり一歩のふり
 右の寄敷よ合せてふり
 いろくのまりやうたられおつり
 方角半の二つとそ志る

●坪積

立方



方守りて

一尺坪百尺の坪

一尺の毎自周

立方の方々のつらけり坪
 是と毎自周の式といふあり

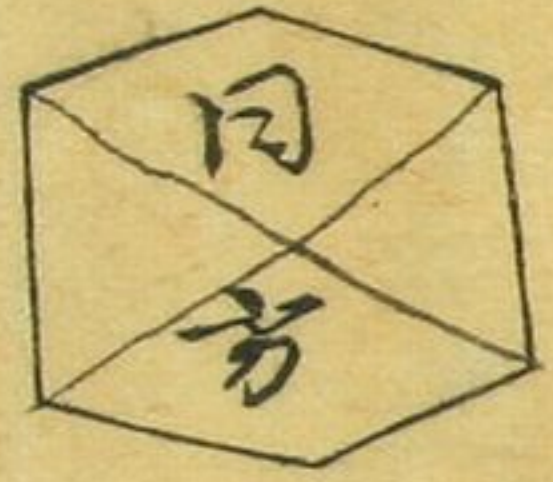
えん形



その法の一分二七八と
 方守りて

一尺坪七尺七分二厘八毛七系八忽

切敷形



切敷形の法二坪三又七
 方守りて

一尺坪百九十四坪七分二厘八毛

下

右そえうの切筈形それくの坪と知式ハ

毎自因法周

そえうの方とのつうけりて

法とけりてつが敷と志り

右坪敷とて立方の方と志りハ坪敷と

志開立の式と用志ハ志り又そえう

切筈形の方と知ハ坪敷と志それくの

法とてよりりて開立の式と用志ハ知也

右方物のうの規のうの也らうと堅

志録よ志りと志り

たつ一尺計寸

方堅



方守
堅志人守

は寸坪と坪成

は式ハ自因相因

方堅と方とのつうけりて

たつとけりて坪敷と志る

うりやくある
厚幅堅
ありたり



厚字守
幅字守として
堅字守

はす坪昔八折八坪

は式ハ毎周

厚幅堅ありよりけりたるけ坪
是と毎周の式とりあり

山形堅



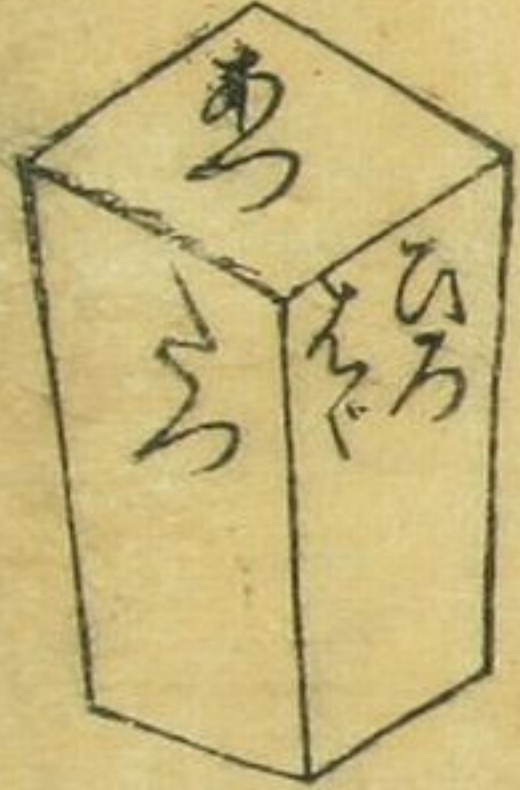
厚字守
あり字守として
たつ字守

はす坪百折八坪

は式ハ毎周

形堅ハありよりけりたるけ
二つよりりて坪敷とあり

折交堅



厚字守
あり字守として
せん字守
たつ字守

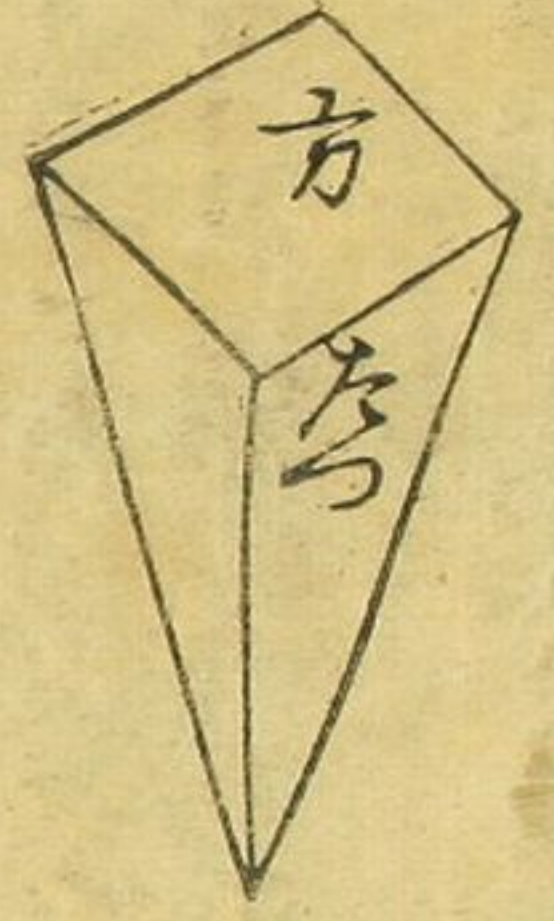
はす坪百折八坪

は式の并毎周半

所披^ツ野^ノひろせと合せあつとけ

たつけ二りり坪敷と志る

方^{ホウ}錐^{スイ}



方^{ホウ}守^シたつ^{タツ}合^カ守^シ

は寸坪百坪ニ成

は式の自因相因三歸

方錐の方かけ合せたつとけ

三つよまらりてそ坪敷と志る

厚^{コウ}幅^フ錐^{スイ}



厚^{コウ}守^シたつ^{タツ}合^カ守^シ

は寸坪九十六坪ニ成

は式の毎因三歸

厚幅錐あつよまらりてそ坪敷と志る

三つよまらりてそ坪敷と志る

右坪敷と志る錐のたつと知^チ或^カハ方

或ハ厚幅と知式形こころれありなり委
 ちありありよ下あり右錐物の子は
 も親のうひなり

方臺



中方是
 東方守にして
 堅き尺守

け守坪吉坪

け式ハ倍加相因并相因

中方と倍し東方より入る

中方をけりて方教とそ志る

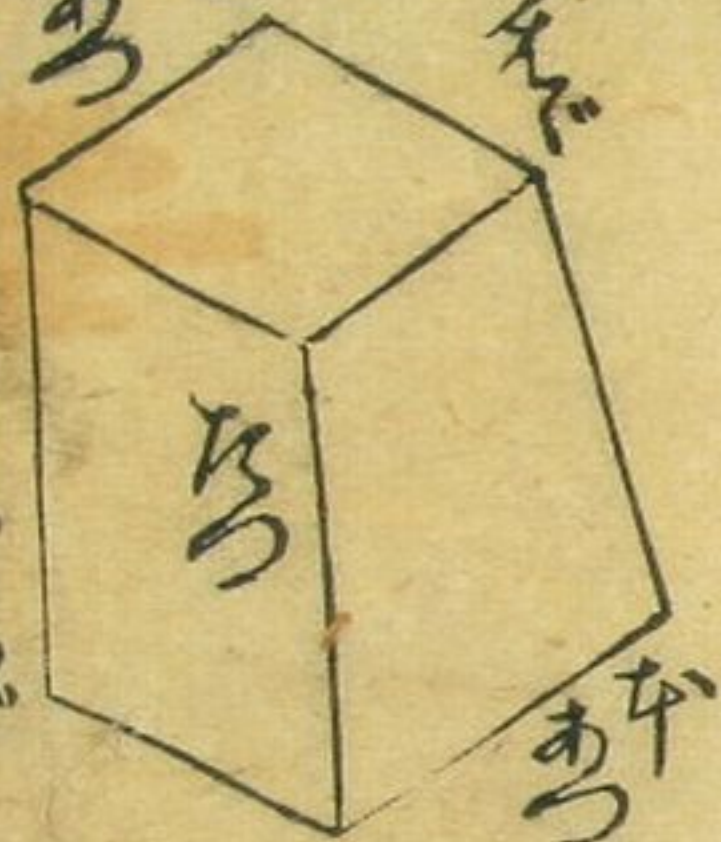
東方と倍し中方より入る

東方をけりて方教とそ志る

本末乃方教合てたつとけ

たつよりりてそ坪教と志る

厚幅臺



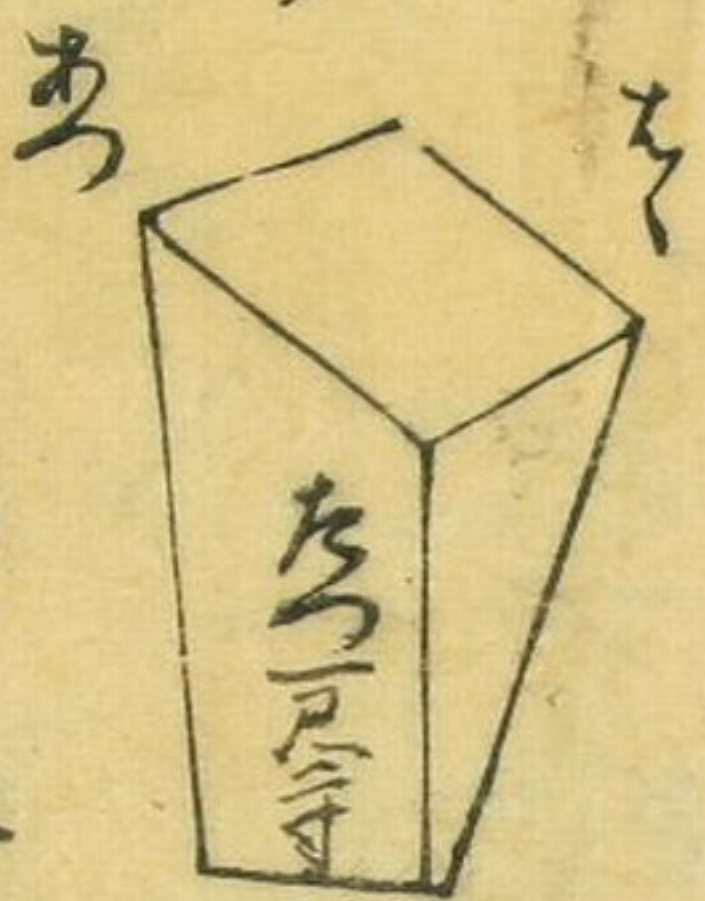
中方厚守
 中方幅守
 本厚守
 本幅守
 たるき尺守

寸坪六百七十二坪

式倍加お因奇お因六改

本厚と倍し末厚を八寸入する
本幅をけりて歩敷とそある
末厚と倍し本厚を八寸入する
末幅をけりて歩敷とそある
本末乃歩敷合て堅とけり
六寸よりけりてそ坪敷とある

権形



厚九寸
幅九寸
堅六尺寸

寸坪百六十八坪

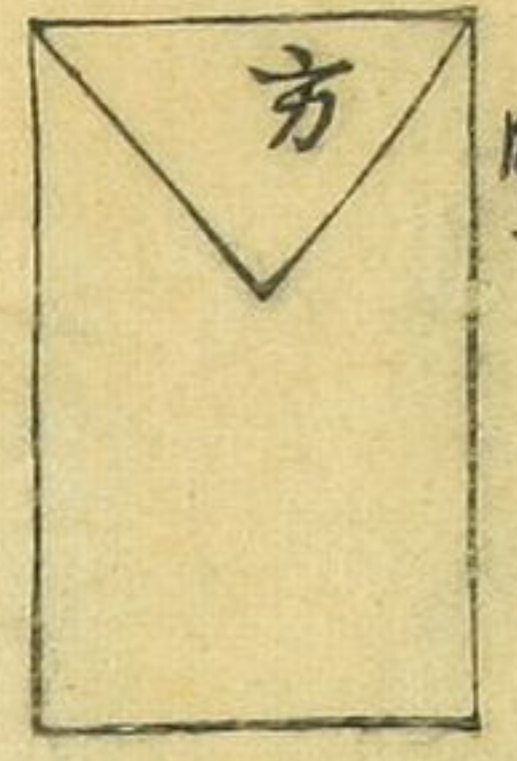
式八每因六改

ち八と倍しち八と八寸入する
あつさとけりて歩敷とそある
右乃歩よたらとろよ坪はる
六寸よりけりてそ坪敷とある

下

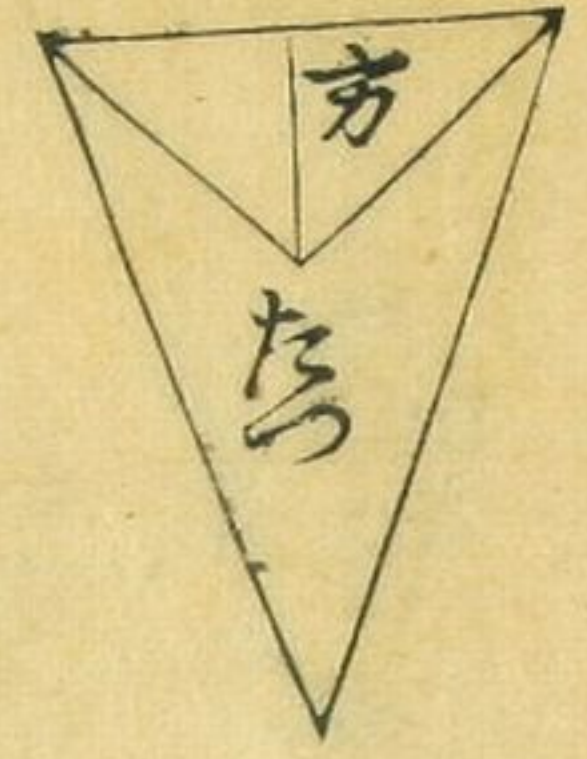
右坪敷とひて巻物のたつと知り或は
 本末の方式は本末の厚らうと知り式
 おく是らるりくくくくくくくくくく
 下右巻物のつひ是も規のつひなり
 くくくくくくくくくくくくくくくく

三方巻



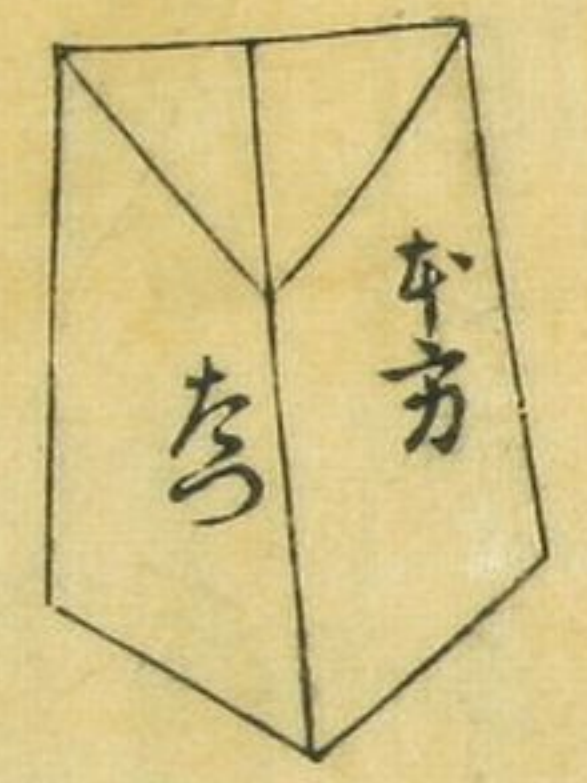
三方の歩法四三三
 方あり
 たつ巻八寸
 六寸坪百廿九坪九分

三方巻



三方の歩法四三三
 方あり
 たつ巻八寸
 六寸坪百廿二坪五分

三方巻



三方の歩法四三三
 本方巻八
 巻方あり
 たつ巻八寸
 六寸坪百令三坪五分

右三方巻式ハ

自因お因法因
 自因お因法因
 倍加お因并お因法因

三方鑿たのと方と方とらん方たの乃

式たのしー四三三けりて坪たのを

五六七八九十方たの鑿の坪と知も三方たの乃式に同なり併それくの法と用也

圓鑿



圓鑿の歩法七九令又
徑め寸
鑿とらん式

寸坪式たの七坪を介又重たの

圓錐



圓錐の歩法七九令又
徑め寸
錐とらん式

寸坪七九坪令又重たの

圓壺



圓徑の歩法七九令又
本徑をらん
末徑め寸
たのらん式

寸坪又百又十二坪三分又重たの

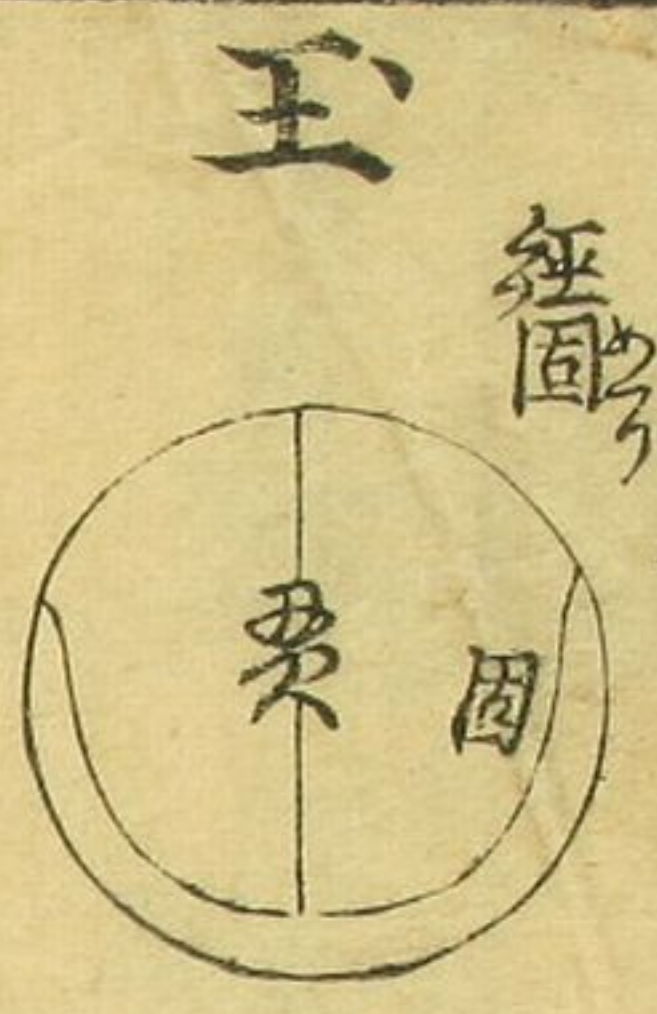
右圓鑿の式たの

自因お因法因
自因お因法因三取
倍加お因并お因法因六取

圓鑿と徑と方とらん方たの乃

式しー七九令又け坪たの

右圖堅三式のうのこれ規^持知^くあり堅^き
規^規徑^徑の^のうの^のこ^この^の規^規堅^堅録^録よ^よ也^也



費^費の^の坪^坪法^法 ^{五分一}
固^固の^の坪^坪法^法 ^{六分二}

はす坪^坪法^法七^七分^分又^又層^層

固^固法^法八^八分^分又^又層^層

はす坪^坪固^固前^前

は式^式の^の再^再自^自固^固法^法固^固

はる^はた^た固^固と^との^のつ^つう^うけ^けして

法^法と^とけ^けて^てそ^そ坪^坪教^教と^とある

右坪^坪教^教と^とひ^ひて^て玉^玉の^の費^費と^と知^知固^固と^とある

坪^坪教^教と^と費^費の^の坪^坪法^法と^とひ^ひて^てら^らり^り開^開立^立

法^法の^の式^式と^と用^用る^る費^費知^知あり^り固^固の^の坪^坪法^法

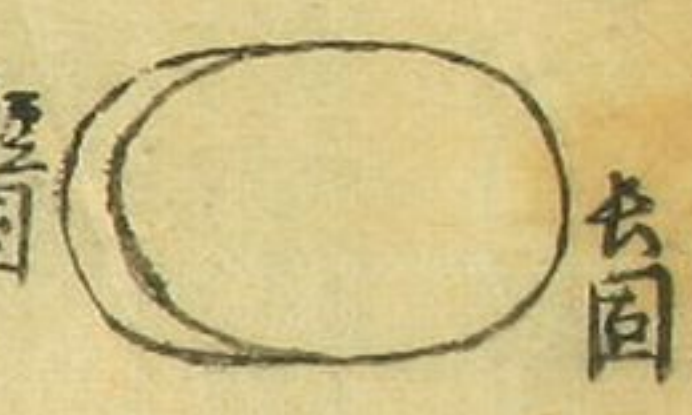
と^とひ^ひて^て開^開立^立の^の式^式と^と用^用る^る固^固

あり^りなり

右玉^玉の^のう^うの^のこ^この^の規^規の^のう^うの^のこ^こなり

費^費堅^堅録^録よ^よあり^りなり

りんきやう
鉦形
たまごのころり



圓周の歩法七カ
玉圓の歩法六二
長圓を尺九寸八分を重
短圓を尺八寸八分を重
寸許教百令之許式分七重又七

式八圓鑿玉并

長圓のゆゑに短圓引てきて 跡二一
よりて鑿 又短圓とよあつて けり
けり 又も又 圓周の法 七九令と

けり許教 まるもまる 短とのつ
けりて 玉圓の法 六二め
よりて許教 ぬの許 合て是を
許教とす

さまじくせりやがら此許法より
方圓直の二つとそとある



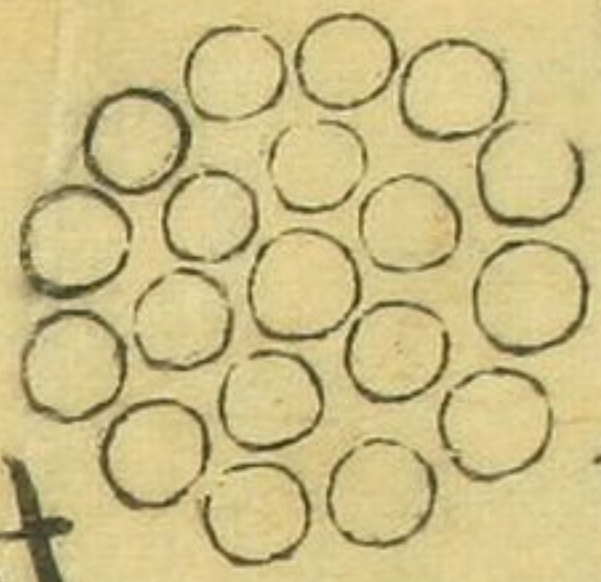
△個積
三方遠
上まの
のかりあつて
六個十八個

は式ハ倍減加お周

三方並上個倍しきり引

のりりとりて入のりりけり

角形並



目

周十二個にて

は個十九個にて

は式ハ加六お周ニ六個加

角形並周は六より入周とけり

十二よりりて一とらとゆる

方錐積



方六個にて

は教又十八個にて

は式ハ加六お周加六個にて

方錐入方より入方とけり

又方より一より入方とけり

石個数とて三方並の式より角形並

の周或は方錐積の方と知式にて

下より上は是よのせうりあり

開平自周

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一十位

開平の一位は漢砂微系重一百万

北秭穰洞載あり

開平の十位は塵織忽毛分十子

億京咳瀉正極あり

今寸歩一歩五分一厘二毛九糸あり

は平方一寸二分三厘二毛

今寸歩十八歩一分二厘九毛あり

は平方一寸二分八厘四毛七糸四毛糸

は平の式は自帰

下

自教とや 開平たりや 歩教と
實心と書て 一十の 位りん入
商にきて 自因の自教と 書て又
實の歩教の 心ときて 自因の自教
引て又 商の教と 倍してそ
法にて 歩教と 一樹りりて
次乃商 次乃商又 自因して
濁の歩教と 心ゆて くり歩ら

歩教何 引てそ又や 二樹乃
商と倍して 法にて 歩教と
一樹そ くりそやこの 商とあり
この商又 自因して 濁乃歩教と
心ゆて くり歩ら 歩教のうら
引たりたれハ 一二この 商は樹と
方と志りあり

いふお意開平 歩教開平此術

堅直深よあつかり

○開立の算自問

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
百 千 万 十 万 十 万 十 万 十 万
百 千 万 十 万 十 万 十 万 十 万
右たふハ九ノ七百九十九ハ
自教七百九十九ノ問教といふなり
一十百位

開立の一位ハ塵微毛一
千兆法間極といふなり
開立の十位ハ^四砂忽屋十
百系様 正といふなり
開立の百位ハ埃糸分百
億秭海載といふなり
今寸坪一坪八分六厘合八糸六忽七微
は三方一寸二分二厘

今寸坪十八坪五分令八毛六系七忽り

はさき二寸五分重はる令 二分令八毛九系
二忽六微

今寸坪百半六坪令八重六毛七系あり

はさき方寸七分重はる令八分九重六毛七系

はるの式は再自取

再自取の 開きありや 坪数と

實にさして 一十百 位らんく

商にさして 再自取のや 自取と

實に坪数乃のさして 再自取のや

因数と 引てさしてや 商乃数

自取して又 三とけり法にさして

ある坪 一坪 其よりして 次乃商

次の商又 自取して 始商より

三とけり 是そや處に 坪とさる

始し坪乃 内めてと 是れ坪引

又もさる 次乃商とハ 再自取し

隅乃坪を
心持て
是も踏し
坪乃心
引かりたりや
まゝも又
二柄乃高
自用して
とどけてそ
法めして
おろし坪と
一柄そ
りりてや
之乃
高とあり
之乃高又
自用して
一二の高け
とどけ
是もや
履れ
坪とあり
踏し坪の
内もそ
かとの坪引
まゝも又

この高とハ
毎自用し
隅の坪を
心持て
是も踏し
坪乃心
引かりたりハ
一二三の
高の柄を
心と知り

心お意開立
平紙開立の術
筆書
線よ
書下
にかり
是よ
のせ
らり
なり

雜傳

た
と
ハ
平
書
下
に
かり
是
よ
の
せ
ら
り
なり

式疎あり是と云計儀十儀付金壹
三分のお陽にして金か小箱と云り
之金壹支付銀お松に文のお陽にして
銀か小箱と云り之銀一そ 方守
長式大文の
角壹平六文下のお陽にして本教
か小箱と云り 言美人守之舟
長式大文の
角よ直して本教何程と知式也

直にお同お席

昔又指六儀壹計式下と每儀同計式と
以て同直と云れ八百文之石是 每儀
同計と云て 掃除と云れ八百令七儀
如是よ每十儀のお陽金壹支分
歸女直壹支二又 以て お同と云れ
三箱八支と云七又 如是 と同女直と云れ
三箱八支と云分之録 如是 と女直と
も六三箱八支と云七又 如是 よ每支のお

場六寸五分にしてお国丸ハ式黄四百六
 十目ハ先と毎本のお場六寸五分と
 イお取丸ハ二百八寸五分ニ七又ハハ
 七又ニ毎本の長さ式又八寸五分にてお国を
 五ハ二百半寸五分守七分又重ハハ
 本教ハ毎本の^{方ハ守}長式又八寸五分と直さる本毎
 本の^{方黄半寸五分}長式又八寸五分にて積直ハ
 百六寸五分ハ先^{方黄半寸五分}の角本也
^{長式又八寸五分}

又^{方ハ守}の角本^{長式又八寸五分}の代取六寸五分にて
^{方黄半寸五分}の角本^{長式又八寸五分}の代と知ハ
^{長式又八寸五分}

坪積因帰分

どのく角の坪と積おのく坪教と
 本本の代六寸五分と^{方黄半寸五分}の角
 と用直ハ寸目ハ先^{方黄半寸五分}の角
 本本の代あり
 たるハ派八寸百目と先と

九口教令六百六十六個目是

右以一二三四の目安ハ始終位定表乃
式と用ハ知ラリ

一ノ二の目安ハ内表の式と用ハ知ラリ

二ノ三の目安ハ外表の式と用ハ知ラリ

三ノ四の目安ハ表裏の式と用ハ知ラリ

凡事一四ハ一ニヨリ

一ノ二の目安是も表裏の式の位也

一の内安と同形一ニヨリ

右内表ハ表ハ内目と表是に三ノ二乃表

百五十月之の三のと一ノ表

二の内表ハ内表ハ内目二口の

百五十月目と加ハ表又百五十月内

二のま一ニヨリ表ハ表又百五

十の目安是も目安六百六十六個式

掃除さいじゆされハ表又百五十月ハ是以一所の

銀也はき費六百月と云てそれく此目
毎よお周とれはそれくの町の銀知也
併之ノ二之の町と之ノ以の銀と云事
百又十月つて引四ノ二の町ハ以の以の銀
あり七々あり一銀くはき付銀

一 千費又百月 一ノ三 千費又百月 二 千費又百月
二ノ三 七百又八文 二ノ九百月 三ノ二 七百又半目
三ノ三 六百月 四ノ二 六百又半七文

右九口合八費百月也

それくの目安と云地銀とお周して
目安の金と云て帰除とれはそれく此銀
知るあり是も二ノ二の銀と云り云り
之の二の銀と云り云り云り

たとへ銀子二人が一年よ二人の本
利たの銀式費百二銀式又下は是
始き人お二ヨりの銀して年々利と

本より直に借りたり但利利とくくは
二番のき人の初年きりり二年目の二
りり三年目の二りりして年々此利
とこのまう利よきり也但利利と
けき也二番のき人の年二りり此
利にして年々のれよ何程つてても
二年あうり同額目いさまう二年目
れきりる本も利もあはまう一切

但初年本銀に二りり年の利とけ
本利尤の銀のりり何程よてもり
とまう一筋銀又二年目の本銀して
又二りり年の利とけ本利尤の銀
乃のりり何程よても初年此らまに
とまひ程りしとまうりり三年目も
つはかり者しはかりにして三人か
りり本銀同額目よ知式ハ

増分の外巻小分

目安の次書

初 百七十一個八分 二番 百六十個

三番 百五十二個八分八厘八毫

旨敷公書半六個三分八厘八毫

是目安なり

うしめ目安百個と云増法一二と云て
之を九圓系よりなり

二番の目安を二より三より三より

合六十個は是に百個を加也

三番の目安を百個と云増法一二と云て
以て帰除され八十個は又半個と一
半と云て帰除され六半個は又六
十個と二半と云て帰除され六半個
二半は半個六十四個半一個式は三
口合百九十二個三分八厘八毫は是目安なり又

百月三年と周され八百日成是と月
安而の中六個とて歸路とるなり
右本利金の取式費百之積式を下と
て目毎百の中六個に分八重とて
歸除され八百日成は六重
是之人ありと雖もの本利と知あり
又

右年二とりの利として利は利とるなり

本利金の取と知ハ本利金百圓と金増
法一二とてとるん周され八百六十
日成是本利金なり右年二とり
ちとの利は利はけとの本利金の取
と知ハ本利金百圓と金初年此二とり
周ハ本利金又本利金百圓と金二年
月の二とりと周ハ本利金又本利金百
圓と金三年月の二とりと周ハ本利金

此 二口の利銀公三箇月。此是よ半銀
又百月と加へ三箇月。此是本利をかり
右年々の言ふに何程つゝ。そも三年か
く同派目に言ふに派目と知へ本派又
百月と志存し内目也百九十八個二ふと
以て掃除されハ計百六十六と書きたる
此是三年の百毎年年九よ是行つ
と申すあり。三年分公七百六十八と書

書きたるは本利たかり

ち三人の半利也

合式費百六十八と書 是 六巻
六巻入

今板を扱ふ方と云ふは板方六寸つに
切ハ方六寸の板十枚扱ふ方六寸つに
切ハ方六寸の板十枚扱ふ方六寸つに
の方費八又方六寸の板費扱方六寸
板費扱各と知式也

自周お肉盈胸分

守寸と自周され八寸六分は是に余寸は
とお周され八寸五分は又方八寸と
自周され八寸五分は是にた寸と寸
扱とお周され八寸五分は是に寸と
又方八寸の歩數六寸四分の内方六寸の
歩數六寸と寸は八寸は是目安なり
右八寸五分と八寸五分とわははれ

千四百歩は是と周は

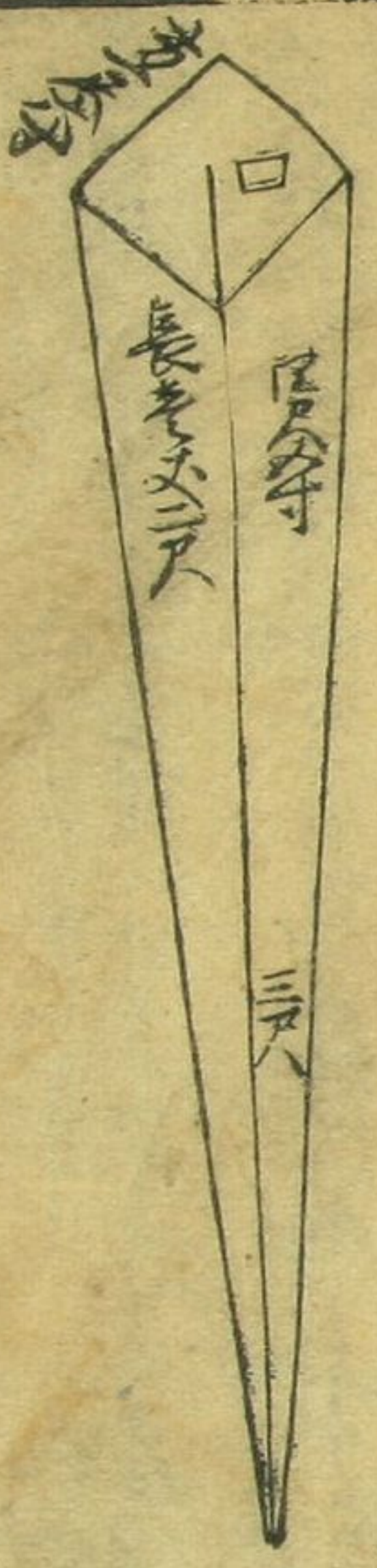
是れ八寸扱は是
の扱合なり又
六寸四分とお周
あり八寸五分
分は是一寸は
百令四分と用
扱は扱の寸と

方守の方敷
 内たるは十
 歩計千二百金
 方六十回歩
 此是方守の
 之音念方と方
 掃除されは知
 板あり

せしよりと女あひ 獲軍あひ歩は 小守百六十歩方
 のありと守守百

二百歩敷公式千二百歩

右それくこの方敷と知る小敷を小敷あり
 の方敷と知式くせしありくせし此方敷
 と知式と用をいさましく此方敷知るあり



たよりハめは方守と守と長き六尺人の方敷

ありあり本あり長ののこり此方より
之入 官人守 官人守 右のあり此
坪敷と知式ハ 因帰分 方鑑
こり此より此之入と此方之人守と
因して此を文式人海除其の守に
是三人と官人守とのあり此方より
又こり此より此之入と此の官人守と加
七人守は是より方鑑の守と因して

也之入此人に帰除其の三人は是官
守と官人守とのあり此の方より
此方鑑ハ 方鑑の 此方人ハ坪敷百六十坪
此方守 此官人守ハ坪敷百六十坪
此方鑑 此官人守ハ坪敷百六十坪
此方鑑 此官人守ハ坪敷百六十坪
此坪敷を令式百四十坪
右それこの坪敷と知式方鑑乃
坪敷と知式方鑑を令式百四十坪

下

下

一と月を六のれくの坪敷をくわり

たふくむりやふふくも或るあふふらふ

とむり乃月をゆして坪敷とのあにぬた

なるうーととまこと知式

遠積之為

遠

遠積

遠積

あ

あ

あ

あ

あ





